



## BOOM! オーディオクルーザーアンプスピーカーキット

### 概略

### キット番号

76000635、76000636

### モデル

モデルの適合性については、純正P&Aカタログまたはwww.harley-davidson.comのパーツとアクセサリに関するセクション(英語版のみ)をご覧ください。

### 取り付け要件

2014~2016年RoadKing® (FLHR) モデルでは別売りの部品(部品番号69200722)が必要です。

2017年Road King (FLHR) モデルでは電気接続キット(部品番号69201599)を別途購入する必要があります。

2010 ~ 2017年のSofttailモデル、2011年以降のDynaモデル、2014年以降のXLモデルでは、電気系統接続キット(部品番号72673-11)を別途購入する必要があります。

2018年以降のSofttailでは、69201599Aを別途購入する必要があります。

Boom! オーディオクルーザーアンプスピーカー拡張キットを取り付ける場合も、同時にフロントおよびリアスピーカーを電気接続キットへ接続します。取り外し可能なリアシステムをご希望される場合、別途パーツを買い足す必要があります。詳細については「スピーカーの拡張キット」を参照してください。

Bluetooth®の操作に3.5mm (1/8in)の使用は必要ありません。非Bluetoothデバイスは、オスジャンパーに接続した3.5 mm (1/8 in)のオーディオのオス部に接続する必要があります(別売り-部品番号92383-09)。

このキットを正しく取り付けするには、Loctite® 243 Medium Strength Threadlocker and Sealant (Loctite 243中強度スレッドロッカーシーラント)(青)(部品番号99642-97)が必要です。

#### 注記

Boom! オーディオタンクポーチ(部品番号91003-10)を使うと、半導体メモリータイプのポータブルオーディオプレイヤーを固定することができます。

ハードドライブメモリーを使用するポータブルオーディオプレイヤーは、車両に取り付けられないでください。

最良の音質のために、ウィンドシールドとの併用をお勧めします。

このキットを正しく取り付けするには、Ultratorch UT-100 (ウルトラトーチUT-100)(部品番号HD-39969)、Robinair Heat Gun (Robinairヒートガン)(部品番号HD-25070)とHeatshrink Attachment (ヒートシュリンクアタッチメント)(部品番号HD-41183)、またはその他の適切なヒートガンが必要です。

バッテリーケーブルを取り外した後、Electrical Contact Lubricant (電気コンタクトルーブリカント)(部品番号99861-02)または同等品が必要です。このアイテムはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にてお買い求めいただけます。

#### ▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

#### 注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルの車両のサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にてお買い求めいただけます。

### 電気系統の過負荷

#### 注記

電気アクセサリを装着し過ぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気系統アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気系統に損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

#### ▲警告

電気系統アクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電氣的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

このキットで取り付けられるスピーカーには、電気系統から最大4Aの電流を供給する必要があります。

### キット内容

「図7」および「表2」を参照してください。

### 準備

#### ▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

1. サーマニュアルを参照してください。ヒューズを取り外す。

2. サービスマニュアルを参照してください。シートを取り外します。シートと全てのシート取り付け金具を保管します。

EFIモデル:

**▲ 警告**

フューエルが飛び散らないよう、サプライホースを外す前に高圧フューエルシステムをパージします。ガソリンは可燃性、起爆性が非常に高いため、死亡事故または重傷事故につながるおそれがあります。(00275a)

1. サービスマニュアルを参照してください。フューエルサプライホース内の空気を抜いて接続箇所を外します。

メインサーキットブレーカーを搭載した全ての車両:

**▲ 警告**

誤ってエンジンを始動すると、死亡や重傷事故の危険があるため、マイナス(-)バッテリーケーブルを外してから作業を開始してください。(00048a)

1. サービスマニュアルを参照してください。シートを取り外します。
2. サービスマニュアルを参照してください。 マイナス(-)バッテリーターミナルからマイナス(黒)バッテリーケーブルをはずします。シート取り付け金具は全て保管します。
3. 全モデル: イグニッションスイッチをオフにします。
4. サービスマニュアルを参照してください。ウィンドシールドを取り外します。取り外し、取り付け時、および保管時にウィンドシールドに傷がつかないように保護します。

キャブレターモデルの場合:

**▲ 警告**

フューエルバルブ固定具を外すことで、ガソリンをキャブレターフューエルラインから排出することが可能です。ガソリンは可燃性、起爆性が非常に高いため、死亡事故または重傷事故につながるおそれがあります。こぼれたフューエルはすぐに拭き取り、拭いた布は適切な方法で処分してください。(00256a)

1. フューエル供給バルブをオフにします。バルブからフューエルラインを取り外してください。

全モデル:

**▲ 警告**

フューエルシステムを取り扱う際は、喫煙したり、そばで火や火花の元となるものを使用したりしないでください。ガソリンは可燃性、起爆性が非常に高いため、死亡事故または重傷事故につながるおそれがあります。(00330a)

1. サービスマニュアルを参照してください。フューエルタンクからインスツルメントコンソール(装備車の場合)を外します。
2. サービスマニュアルを参照してください。フューエルタンクを取り外します。
3. RoadKingモデルのみ: ハンドルバーカバーを車両から取り外します。左右のナセルを取り外します。サービスマニュアルの説明に従って、ヘッドランプアッセンブリーを外します。

取り付け

電気接続

1. 2017年Road Kingモデル、2018年以降のSoftailおよびFreewheelerモデルのみ: 電源、アース、アクセサリ/イグニッションを電気系統接続キット(別途購入)に取り付けます。車両のコネクター[325]を見つけます。そのキットの指示に従って、コネクターを取り付けます。接続キットからスピーカーに合う色のワイヤーを取り出し、つないで熱収縮します。インラインヒューズホルダーを赤/青のワイヤーにつなげます。2010年以降のSoftailモデル、2011年以降のDynaモデル、2014年以降のXLモデル: 電源、アース、アクセサリ/イグニッションを電気系統接続キット(別途購入)に取り付けます。車両のコネクター[91A]を見つけます。そのキットの指示に従って、コネクターを取り付けます。接続キットからスピーカーに合う色のワイヤーを取り出し、次のようにつないで熱収縮します: 黒色を黒色へ、赤/黄色を紫/青色へ、赤/青色をインラインヒューズホルダーへ。2009~2013年のRoadKingモデル、2006~2011年のDynaモデル、2000~2010年のSoftailモデル、2004~2013年のXLモデルのみ: キットのリングターミナルを黒い配線にクリンプします。マイナスバッテリーターミナルに取り付けます。リングターミナルをヒューズホルダーのもう一端にクリンプし、プラスバッテリーターミナルに接続します。リアランプコネクターでオレンジ/白を見つけます。カットし、紫/青の配線に接合します。
2. 全モデル: 10Aのヒューズをインラインヒューズホルダーに取り付けます。
3. 今後リアスピーカー拡張システムを取り付ける場合は、これらの手順に従います。システムをすぐに取り付けます。

ハンドコントロールの取り付け

1. 「図7」を参照してください。ご希望の用途に合うハンドコントロールベースおよびスピーカーを選んでください。

注記

しっかりと表面を清掃しておかないと、粘着が弱まりハンドコントロールの緩みにつながります。

2. 「図1」を参照してください。50~70%のイソプロピルアルコールを蒸留水で30~50%に希釈した溶液で洗浄します。テープ(1)をカットして、ハンドコントロールベース(2または3の位置)に貼り付けます。

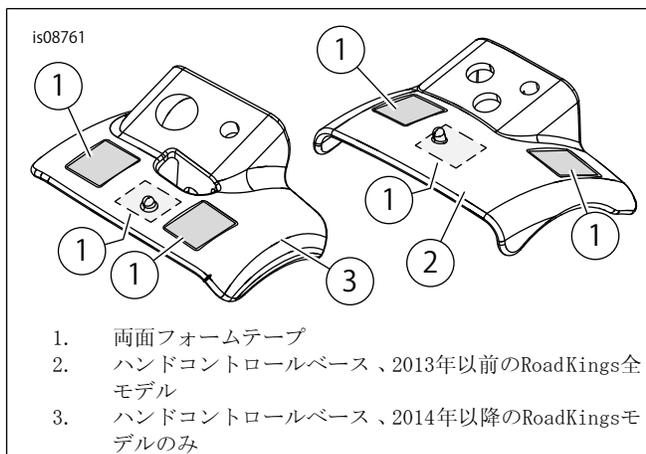


図1. ハンドコントロールベースおよびテープ

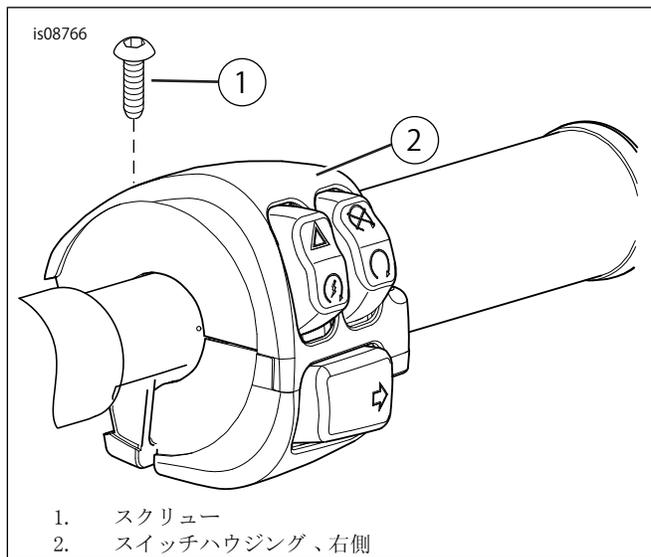


図2。スクリューおよびスイッチハウジング

- 「図2」を参照してください。右側のスイッチハウジング(2)からスクリュー(1)を外します。2014年移以降のRoad Kingモデル:後で使用するためにスクリューを取っておきます。その他の全モデル:スクリューを廃棄します。
- 「図3」を参照してください。事前に選んだスペーサーを正しい穴(2または3)に合わせます。

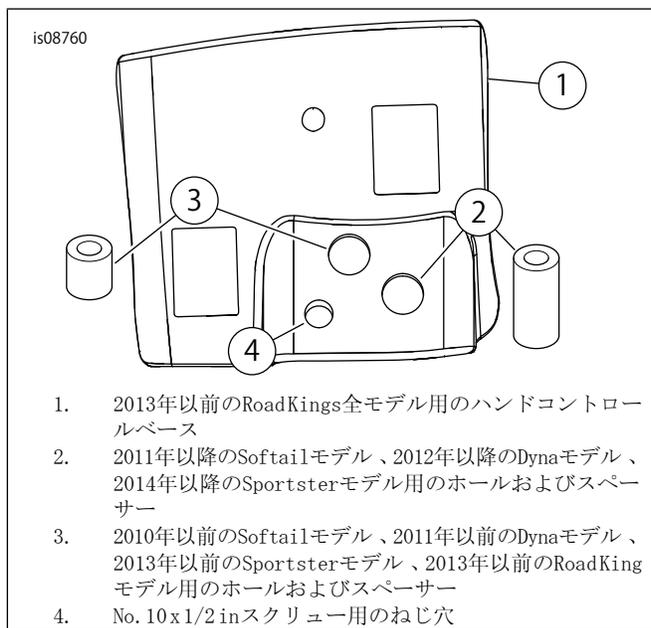


図3。ハンドコントロールベースおよびスペーサー

- 「図4」を参照してください。事前にスクリューを取り外したスイッチハウジングの穴にスペーサー(1)を配置します。
- スイッチハウジングおよびスペーサーの上にハンドコントロールベース(3)を配置します。2014年以降のRoad Kingモデル:スペーサーは使用しません。

- 2014年以降のRoad Kingを除く全モデル:スクリュー(4)をハンドコントロールベースの正しい穴に合わせ、スイッチハウジングの穴にスペーサーを通して取り付けます。スクリューでハンドコントロールブラケットを固定します。3.9~5 Nm (35~45 in-lbs)のトルク値で締め付けます。2014年以降のRoad Kingモデル:事前に取り外しておいたスクリューをハンドコントロールベースの穴に合わせます。スクリューでハンドコントロールブラケットを固定します。3.9~5 Nm (35~45 in-lbs)のトルク値で締め付けます。
- ハンドコントロール(5)をハンドコントロールベースに取り付けます。スクリュー(6)をねじ穴(7)に取り付け、ハンドコントロールベースを固定します。締め付けます。  
トルク:3.9-5 N·m (34.5-44.3 in-lbs)

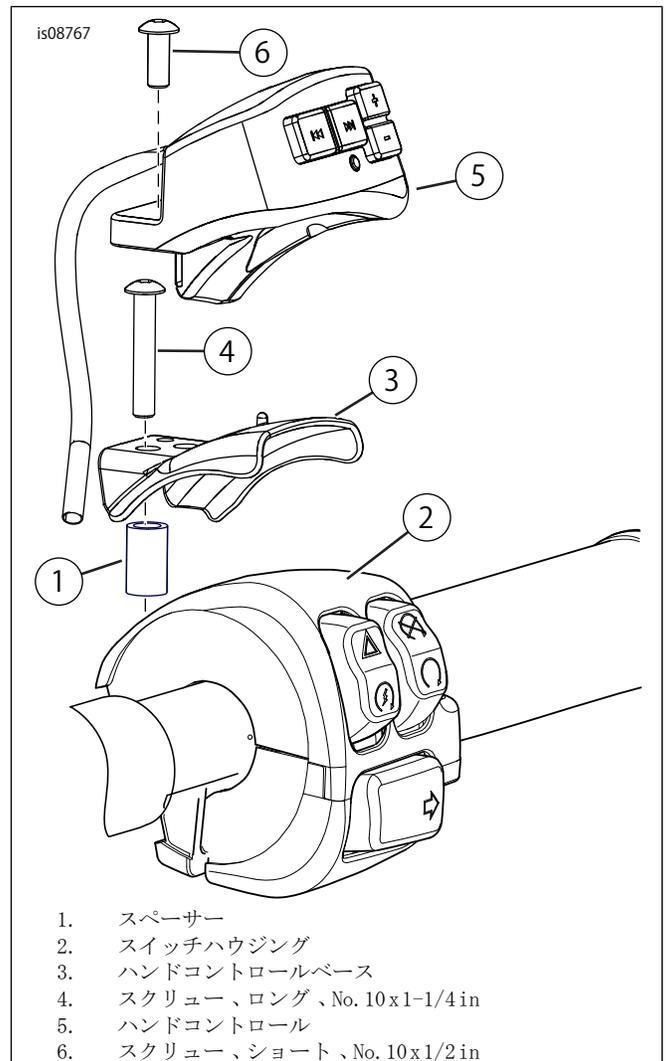


図4。ハンドコントロールの取り付け

## スピーカーの取り付け

### 注記

ハンドルバーにスピーカーボッドを取り付ける位置を確認するため、試しに装着してみます。

- 「図5」を参照してください。図のようにスピーカーを取り付けます。スピーカーがハンドルバーの内側になるようにスピーカーランプ(4)を配置します。スピーカーをハンドルバーランプが左右対称になるように、できるだけ低い位置で中心にくるように配置します。

- ・「図7」を参照してください。5つの電装コネクタ付きスピーカーポッド(2)が、ハンドルバーのブレーキ側に取り付けられています。1つの電気コネクタ付きスピーカーポッド(1)が、クラッチ側に取り付けられています。
- ・車両にウィンドシールドが標準装備されている場合、スピーカーをハンドルバークランプが左右対称になるように、できるだけ低い位置で中心にくるように配置します。  
注意：最良の音質のために、ウィンドシールドとの併用をお勧めします。
- ・スピーカーとクランプがハンドリング、コントロール操作、または計器の視認性を妨害していないことを確認します。

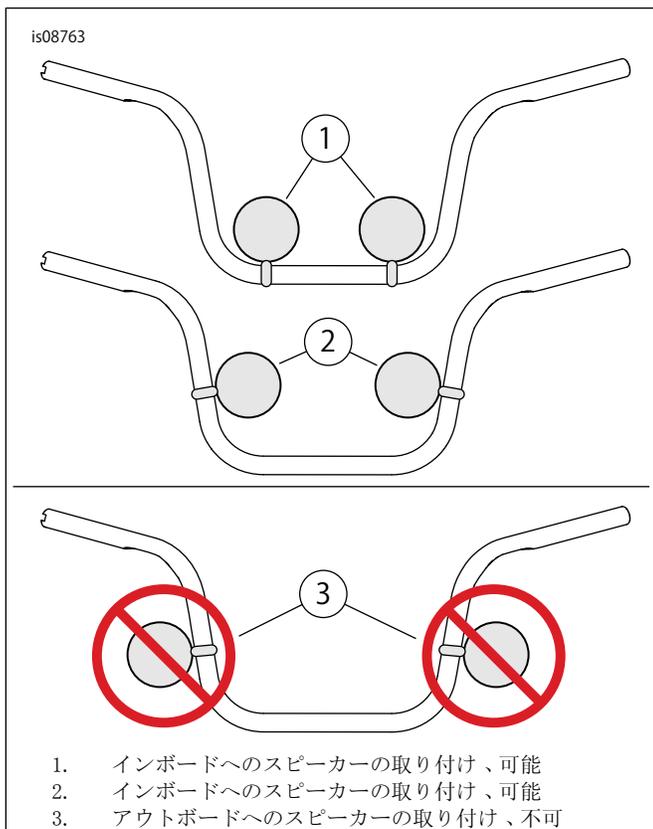


図5. ハンドルバーのスピーカー位置

直径31.8mm (1 1/4 in) のハンドルバーに取り付ける場合は、スピーカー(12)は廃棄して構いません。

#### 注記

直径25.4mm (1.0 in) のハンドルバーを装着した車両では、クランプ(14および11)の内側にスピーカーを挿入します。スピーカーがクランプ内側のくぼみに収まるようにします。

1. 「図7」を参照してください。事前に決めた位置にスピーカーを配置します。モデルによってはクラッチケーブルの再配置が必要な場合があります。Loctite (青) をすべてのクランプスクリュー(10および13)に数滴垂らします。クランプ(14および11)をスクリュー(10)でスピーカーをハンドルバーに固定します。スクリュー(10)を4.5~6.8 Nm (40 ~ 60 in-lbs) のトルク値で締め付けます。スクリュー(13)を20~27 Nm (180~240 in-lbs) のトルク値で締め付けます。

## 取り回しおよび接続

1. 2つのスピーカーをつなげる配線およびコネクタを取り回します。コネクタの矢印を揃えます。ねじ付きカラーでお互いを固定します。
2. ハンドコントロールをスピーカー右側の対応するコネクタに接続します。コネクタの矢印を揃えます。ねじ付きカラーでお互いを固定します。
3. 残りの配線をステアヘッド近くにあるハンドルバーの中央から取り回します。
  - ・ XL、Dyna、2017年以前のSoftail: 3線電源配線を車両フレームバックボーンの下に通し、車両のメインハーネスの後に続けます。
  - ・ Road King: 配線用ケースからカバーを取り外し、その中に配線を取り回します。カバーを元通りに取り付けます。
  - ・ 2018年以降のSoftail: ステアヘッドの近くにあるフレームのLH側から、ワイヤグロメットを取り外します。フレームの下部からワイヤーキャディを取り外します。タンクの先端近くから出ているフレームバックボーンを通した、車両のメインハーネスの取り回しの後に続けます。キット内のバツスプライスを使用して、特定の電気接続を確立します(モデルおよび年式によって異なります)。
  - ・ 2018年のSoftail: 配線と車両のモノショックとの間に十分なクリアランスがあることを確認します。余分な配線はRHサイドカバーの下に束ねておきます。ハーネスの再取り回しが必要な場合に備えて、追加のケーブルストラップと接着ケーブルアンカーが69201599Aキットに含まれています。

#### 注記

電気系統接続キットに複数のアクセサリを取り付ける場合、車両のRH側に69201599Aの配線を再度取り回し、RHサイドカバーの下に束ねておくことが必要だと考えられます。その後で、ハーネスがショック下のメインハーネスに続いていることを確認します(再度、ショックとのクリアランスを確認します)。

4. リアスピーカーシステムが既に取り付けられている場合は、その場でフロントスピーカーシステムに接続します。
5. 3.5mm (1/8 in) の補助コネクタを使用する場合は、ジャンパーを装着します。好みの位置に取り回します(「磁気タンクポーチ」または「フォンマウント」のカタログを参照してください)。大きな動きやハンドル操作に支障がないように固定します。オーディオジャックを使用中、または頻繁に抜き差しする場合は、手の届く位置に配置してください。3.5mm (1/8 in) の補助コネクタを使用しない場合は、しまっておきます。
6. ワイヤーをケーブルストラップで固定します。

## 完了

1. RoadKingモデルのみ: サービスマニュアルを参照し、左右ナセルを組み立てます。ハンドルバーカバーを車体に組み立てます。
2. 全モデル: サービスマニュアルを参照し、フューエルタンクを取り付けます。
3. サービスマニュアルまたはアクセサリキットの説明書に従って、車体にウィンドシールドを取り付けます(装着していた場合)。取り付け時にウィンドシールドとスピーカーポッドに傷がつかないように注意してください。

## ▲ 警告

ステアリングのスムーズな動きを妨げるものがないことを確認します。ステアリングに干渉があると車両を操作できなくなり、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00371a)

4. スピーカーポッドがハンドリング、コントロール操作、または計器の視認性を妨害していないことを確認します。

### 注記

イグニッションスイッチがOFF(オフ)の位置にあることを確認した後、メインヒューズまたはバッテリーケーブルを取り付けます。

5. メインヒューズ装備車: サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り付ける。メインサーキットブレーカー使用モデル:
  - a. XLSportsterを除く全モデル: サービスマニュアルを参照し、マイナスバッテリーケーブルを取り付けます。バッテリーターミナルにワセリンまたは腐食防止剤を薄く塗布します。
  - b. XLSportsterモデルのみ: サービスマニュアルを参照し、エンジンクランクケースにマイナスバッテリーケーブルを接続します。
6. サービスマニュアルを参照してください。シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上につけて、固定されているか確認します。
7. イグニッションスイッチをIGNITION (イグニッション)に入れますが、エンジンは始動させないでください。

### 注記

ハードドライブメモリーを使用したオーディオプレイヤーはバイクに取り付けられないでください。車両の振動でオーディオプレイヤーが永久的に破損することがあります。

機器の説明書を参照して、お持ちのオーディオプレイヤーがハードドライブメモリーを使用しているか確認してください。

## 操作

「図6」を参照してください。

### 電源のオン/オフ:

1. 待機モード中に(イグニッションオン時)ハンドコントローラーボタン後部の[再生/停止/ミュート](5)を押すとシステムが起動します。
2. [再生/停止/ミュート]ボタンを3秒間長押しすると、オフになります。
3. また、システムは前回の電源状態にもとづいてイグニッションスイッチでオン/オフします。

### Bluetoothおよび補助オーディオモードの切り替え:

1. システムのデフォルトモードはBluetoothモードです。
2. オス型プラグが3.5mm (1/8)オーディオジャックに挿入されると、システムは自動で補助モードに切り替わります。

### 注記

オス型プラグが3.5mm (1/8)オーディオジャックに挿入されると、システムのBluetoothモードは動作しません。

### お使いのデバイスへのBluetoothのペアリング:

#### 注記

ペアリングモード中、3.5mm (1/8)のオーディオジャックがシステムに接続されていないことを確認します。

1. Bluetoothモード中(青色LEDがゆっくと点滅)に[再生/停止/ミュート](5)とボリュームダウン(4)ボタンを同時に押します。音が鳴るまで2秒間押します。
2. Bluetoothペアリングモードになると、青色LEDインジケータの点滅が早くなります。システムはデバイス上でBOOM!オーディオとして認識される必要があります。デバイス上でパスワード"1234"を入力します。
3. ペアリングが完了すると、システムは音を鳴らし青色LEDは点灯したままになります。
4. システムは一度に1つのデバイスとしかペアリングできません。別のデバイスとペアリングするには、新しいBluetooth接続ごとに上記の手順を繰り返します。
5. 一度ペアリングをすると、お使いのスマートフォンは自動でシステムに接続されます。

#### 注記

スマートフォンによっては自動で接続されないことがあり、その場合はユーザーがデバイスの接続を選択する必要があります。

### Bluetoothモードでの電話の受信:

1. 電話を受信すると、システムは一時停止して流れているオーディオをミュートします。通話が終わるとオーディオが再開します。
2. 通話はスマートフォンのスピーカーではなく、システムを介して行われます。

#### 注記

スマートフォンによっては、通話後に音楽を再生するために[停止]ボタンを押す必要がある場合があります。

### 全モードでのボリュームアップおよびボリュームダウン操作:

システムがBluetoothまたは補助モードでボリュームを調整するには、[ボリュームアップ](3)または[ボリュームダウン](4)ボタンを一瞬だけ押します。

Bluetoothまたは補助モードでは、[ボリュームアップ](3)または[ボリュームダウン](4)ボタンを長押しすると素早く調整できます。

注記: システムはデバイスのボリュームをコントロールしません。デバイスのボリュームが最大になっていることを確認する。

### 曲戻しおよび曲送り(Bluetoothモードのみ):

1. システムがBluetoothモードで音楽を再生している時に曲を変えるには、[曲戻し](1)または[曲送り](2)ボタンを一瞬だけ押します。これらのボタンに長押し機能はありません。

再生/停止/ミュート(コントロール後部)(ブルートゥースモードのみ):

1. 音楽の再生や停止をするには、ブルートゥースモードで[再生/停止/ミュート] (5)を押します。
2. 音楽をミュートするには、補助モードで[再生/停止/ミュート] (5)を押します。

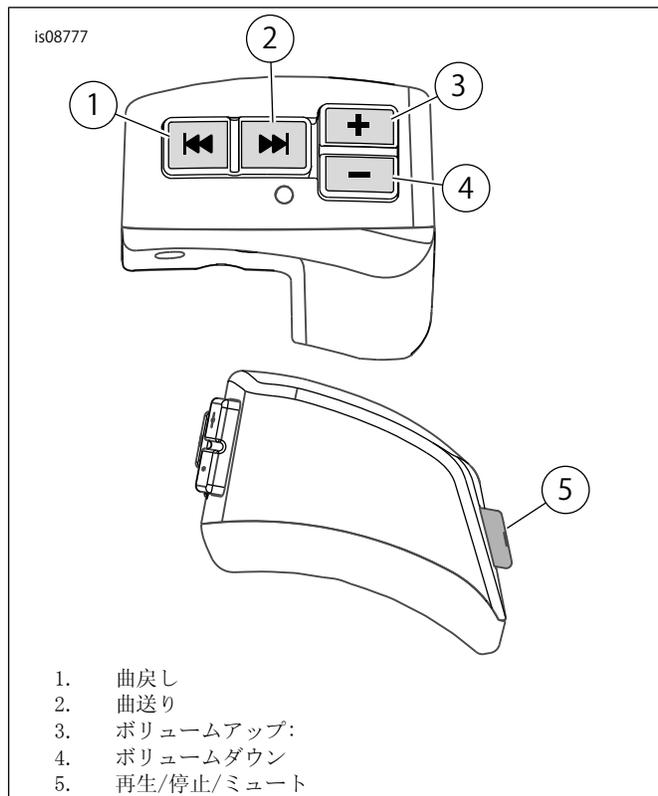


図6。ハンドコントロールのボタン

LEDインジケータータ表

表1。LEDインジケータータ表

状態	LED表示
システムオフ	点灯LEDなし
AUX (3.5mm) インプット	緑色LED点灯
ブルートゥース-直近にペアリングされたデバイスを検索	青色LEDがゆっくりと点滅
ブルートゥース-新しいデバイスを検索(ペアリングモード)	青色LEDが素早く点滅
ブルートゥース-オーディオ再生をペアリング	青色LED点灯
ブルートゥース-オーディオ停止をペアリング	青色LEDが2回点滅し、1秒停止

交換用パーツ

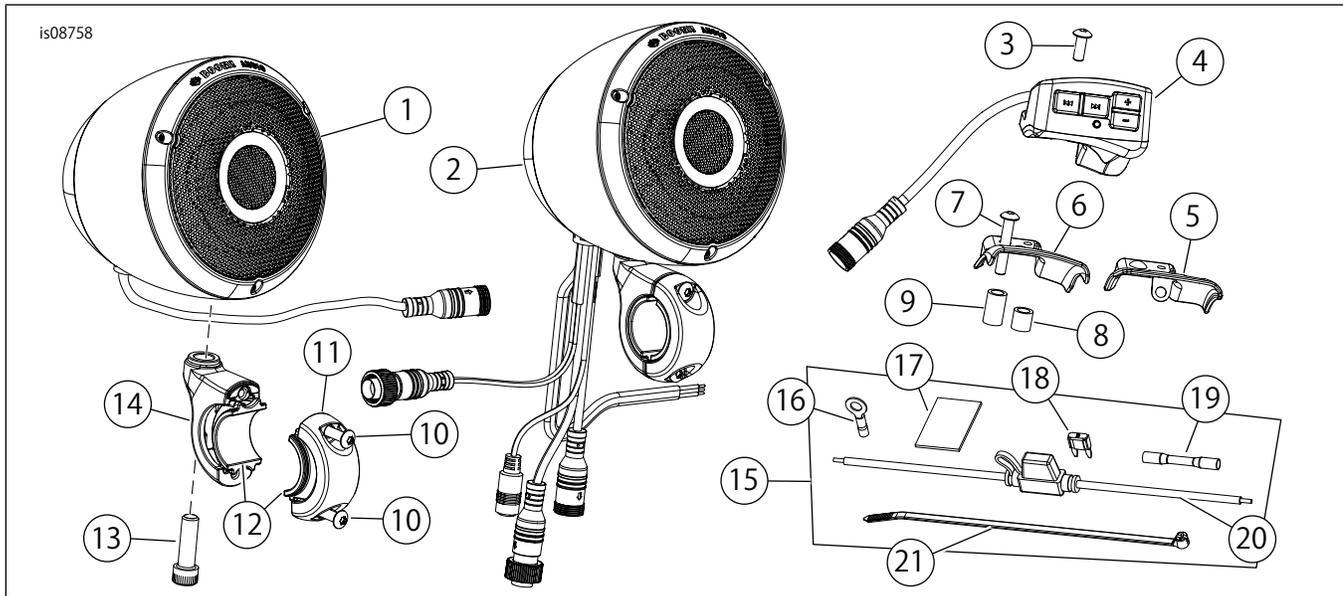


図7。交換用パーツ、ハンドルバーマウントスピーカーキット

表2。交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
1	スピーカーアッセンブリー、左側、ブラック	76000656
	スピーカーアッセンブリー、左側、クローム	76000655
2	スピーカーアッセンブリー、右側、ブラック	76000639
	スピーカーアッセンブリー、右側、クローム	76000638
3	スクリュー、No. 10-24x1/2 in. ブラック	10200492
	スクリュー、No. 10-24x1/2 in	10200493
4	ハンドコントロールアッセンブリー、黒	71500410
	ハンドコントロールアッセンブリー、クローム	71500438
5	マウントブラケット、黒	69201355
	マウントブラケット、クローム	69201487
6	マウントブラケット、黒	69201354
	マウントブラケット、クローム	69201486
7	スクリュー、No. 10-24x1-1/4 in. ブラック	10200488
	スクリュー、No. 10-24x1-1/4 in. ステンレス	10200489
8	スペーサー、ショート、ブラック	12400111
	スペーサー、ショート	12400121
9	スペーサー、ロング、ブラック	12400110
	スペーサー、ロング	12400122
10	スクリュー、No. 10-24x3/4 in. (4)、ブラック	10200490
	スクリュー、#10-24x3/4 in. (4)	10200491
11	マウントクランプ(2)、ブラック	76000651
	マウントクランプ(2)、クローム	76000650
12	スペーサー(4)	76000659
13	スクリュー、ソケットヘッド(2)、5/16x5/8	別売りなし
14	マウントクランプ(2)、ブラック	76000653
	マウントクランプ(2)、クローム	76000652
15	ワイヤーハーネスキット品目(16、17、18、19、20、21含む)	69201357
16	リングターミナル、1/4インチ	9858
17	粘着テープ	別売りなし
18	ヒューズ、10A、最小	72462-00
19	バットスプライス、シール、No. 14-16	70586-93
20	ヒューズホルダー、ミニタイプ、カバー付き	70306-02
21	ケーブルストラップ	10006